

製品名: FAM111B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10809**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	FAM111B
別名	FAM111B; CANP; Protein FAM111B; Cancer-associated nucleoprotein
遺伝子 ID	374393.0
SwissProt ID	Q6SJ93
免疫原	抗血清はヒト F111B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

背景

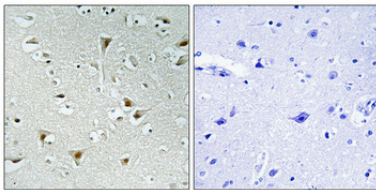
この遺伝子は、C末端にトリプシン様システイン/セリンペプチダーゼドメインを持つタンパク質をコードしています。この遺伝子の変異は、常染色体優性遺伝性の遺伝性線維性多形皮膚症（HFP）と関連しています。罹患者は、斑状色素沈着、毛細血管拡張症、表

皮萎縮、腱拘縮、および進行性肺線維症を呈します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。この遺伝子のパラログである FAM111A もトリプシン様ペプチダーゼドメインを持ち、ヒト染色体 11q12.1 上でこの遺伝子からわずか 16kb の位置にあります。[RefSeq 提供、2014 年 4 月]、配列注意：混入配列。ポリ A 配列の可能性があり、類似性：FAM111 ファミリーに属します。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。